

市町村健康増進計画等の推進に係る取組について（R4年度）

市町村名	小林市
事業名	健(検)診受診率向上対策
対象者	次の対象者のうち該当するものの□に✓をしてください。「その他」については、内容をお答えください。（複数回答可）
1	住民全体 <input checked="" type="checkbox"/>
2	出生～児童・青年の世代 <input type="checkbox"/>
3	働く世代 <input checked="" type="checkbox"/>
4	高齢期 <input checked="" type="checkbox"/>
5	その他 <input type="checkbox"/>
	その他の内容
事業概要	<p>市が実施している国保特定健康診査、各種がん検診について、対象者へ個別通知を実施し、受診行動につながる情報提供をする。集団健(検)診については、休日健(検)診実施やW E B 予約、コールセンターの継続等、コロナ禍前の体制に少しずつ戻しながら、体制整備等、受診環境の整備を行った。</p> <p>未受診者対策として、年度途中に、特定健康診査については、ナッジを活用した勧奨はがきの通知やSMSを活用した勧奨の実施、またがん検診については、国立がん研究センターの情報を有効活用したはがきの通知し受診勧奨をおこなった。</p> <p>啓発活動について、市広報誌での健(検)診の特集記事の掲載、市のL I N E、防災メールにて適時、情報配信、市の体育祭、まつり等の市のイベント、出前健康講座や健康相談事業等での啓発、市内小中学校の保護者あてに健(検)診チラシの配布、市内医療機関、小中学校、公共施設等へののぼり旗の設置等、あらゆる機会を通じて健(検)診のPRを実施し、普及啓発を行った。</p>
参加者数	
事業予算	がん検診38,248千円 特定健診56,469千円 合計94,717千円（実績ベース）
事業効果等	<p>個別通知を通じて全健(検)診対象者へのアプローチの実施、集団健(検)診については、休日の健(検)診実施やW E B 予約、コールセンターの継続等、コロナ禍前の体制に少しずつ戻しながら、住民が安心して受診できる体制整備等、受診環境の整備を行った。</p> <p>また未受診へ効果的な受診勧奨の実施し、またあらゆる機会を通じた健(検)診啓発活動により、健康無関心層へのアプローチにもつながり、受診率向上につなげた。</p>

課題等

特定健康診査、がん検診ともに、経年的受診率は伸びてきているが、目標値には届いていない。特に65歳以下の受診率が、65歳以上よりも低いため、今後も働き世代へのアプローチが必要。

写真・グラフ等

特定健康診査受診率の推移

